

1

お金の付き合い方

みなさんは、ライフプランの実現に向けて、計画的にお金を管理していますか？



お小遣い帳はつけてるけど…。



貯金ならしているよ！



あ、この間全部使ったんだっけ…。



あまり深く考えなくても大丈夫じゃないかな？

心配だな…。



I お金を管理するスキルを身に付けよう

1 持っているお金を全部使って大丈夫？

月100万円使える収入があったとします。かなりの高収入ですね。みなさんならどのように暮らし、何にお金を使いたいですか？

それだけあれば欲しいモノは何でも買えるし、働かずに遊んでもなんとかなるでしょ。



そうだね。でも、全部使わないで、30万円くらいは貯金しようかな。



タワーマンションに住みたいなあ。



使える金額が大きいと、節約して貯蓄しようと思う人は少なそうですね。

でも、人生には予期しないことが起こり得ます。急にまとまったお金が必要になったときや、収入が激減したとき、全く貯蓄がなかったら困ることになります。また、これからやってくるライフイベントに使うお金の準備も必要です。

手元にあるお金を全部使ってしまうと、計画的に残していくように工夫しなければなりません。その方法を学んでいきましょう。

2 黒字にするのが大切なわけ

手元に入ってくるお金を**収入**、生活費や欲しいモノを買って手元から出ていくお金を**支出**といいます。支出が収入より少なければ、お金が残って**黒字**になります。

一方、支出が収入より多ければ、お金が足りず**赤字**になります。長い人生のなかでは、ライフイベントが重なる時期など、赤字になる年もあるでしょう。しかし、その赤字を埋められる貯蓄があれば、無事に乗り切ることは可能です。

思い描くライフイベントを実現するためには、毎年の「**収支(=収入-支出)**」をなるべく黒字にしていくことが大切です。そのために必要なのが、収入に応じた貯蓄の確保と支出の管理です。詳しくは、次ページの「**II 収入の確保と支出の管理の基本**」でみていきましょう。

収入 > 支出

→ 黒字



収入 < 支出

→ 赤字



3 残ったお金、足りないお金、どうする？

毎年の収支が無事に黒字になったなら、残ったお金を将来のライフイベントがやってくるまで効果的に**運用**するという方法もあります。運用というと何だか専門的で難しそうですが、銀行に預けるのもお金の運用方法の1つです。

ただ、銀行の預金では決まった利息しか得られません。一部のお金は、プラスαの収益を期待して**投資**にあてることも、効果的にお金を増やすカギとなります。

大学進学のための学費が足りないなど、必要な時期にお金が足りないことも、人生のなかではよくあることです。そのような場合、奨学金や教育ローンなどを利用することで、ライフプランの実現が可能となります。「賢い借り方」を知っておくのも、自分らしい人生を設計するカギです。(Lesson3 参照)

プラス
ONE

AIが助ける家計管理「家計簿アプリ」

支出の管理には、何にいくら使ったかを記録できる「家計簿」が役立ちます。紙の家計簿は記入や計算が面倒で長続きしない人もいるかもしれません。いまはスマートフォンやタブレットにダウンロードして使える「家計簿アプリ」があり、必要な情報を入力すれば自動的に家計簿を作成してくれます。



金融広報中央委員会「スマホで家計簿」▶



II 収入の確保と支出の管理の基本

1 収入の中心は働いて得るお金

生活をより豊かにし、ライフイベントを実現するには、お金が必要。つまり収入が不可欠です。今のみなさんの収入は、お小遣いやアルバイトによるものが多いのではないのでしょうか。

ゆくゆくは社会人となって、働いて収入を得るようになる人がほとんどだと思います。働き方にもいろいろあり、どこでどのように働くかによって収入も違ってきます。社会に出る前に、働き方について考えることは大切なことです。

若いみなさんにはピンとこないかもしれませんが、いずれは退職する時期がやってきます。
人生100年を支えてくれるものの1つに「公的年金 (Lesson2参照)」があります。



2 支出の中身は「ニーズ (NEEDS)」? 「ウォンツ (WANTS)」?

収入の使い道、つまり支出の中身については、数え切れないほどたくさんのお金がありますが、大きく2つに分けることができます。1つは「**ニーズ (NEEDS=必要なモノ・コト)**」、そしてもう1つは「**ウォンツ (WANTS=欲しいモノ・やりたいコト)**」です。

みなさんは今、得た収入のほとんどをウォンツに使っているかもしれません。生活費や学校の授業・部活に必要な費用など、ニーズにあたる支出は、保護者が負担している場合が多いのではないのでしょうか。しかし将来、一人暮らしをするときがくれば、生活のためのニーズが発生し、ウォンツだけにお金を使っていられなくなります。そのため、ウォンツの優先順位を考える必要が出てきます。

Think! 今、欲しいもの・やりたいことを挙げてみよう。また、それらをニーズとウォンツに分けてみよう。

欲しいもの・やりたいこと

(例：洋服、スマートフォン、旅行)



ニーズ

ウォンツ

3 予算を立てて支出を管理する

貯蓄できるようにするためには、収入に応じた支出の管理が必要ですが、暮らしに欠かせないニーズの支出は削れません。そのため**ウォンツを上手く管理することが、収支を黒字にするカギとなります。**

自分にとってのニーズとウォンツを決め、ウォンツの優先順位を付けたら、次に、収入の見込み額の範囲で、支出の予算を立てましょう。暮らしに必要なニーズの項目から考え、**貯蓄すると決めた金額を差し引いた残りでウォンツの予算を立てます。**予算オーバーであれば、優先順位が低いものは支出をやめるか翌月以降に検討します。

できれば、助け合い・支え合いのための支出(寄付・クラウドファンディングなど、p.11「プラスone」参照)も考えられるとよいですね。

そして、予算を守りながら暮らすことを習慣付けましょう。

予算の立て方の例

手取りの年収が300万円(月収25万円)とすると

項目		予算額
生活費	ニーズ	108万円(9万円)
住居費	ニーズ	96万円(8万円)
趣味・娯楽費	ウォンツ	44.4万円(3.7万円)
予備費	ニーズ	12万円(1万円)
貯蓄	ニーズ	36万円(3万円)
寄付など	ウォンツ	3.6万円(3,000円)
計		300万円(25万円)

(カッコ内は月額)

政府や企業も予算を立て、計画的に事業を行います。私たちも予算を立てて家計を管理することで、ライフプランを実現することができるようになります。



今欲しいモノで予算がいっぱいになりそう。

将来困らないように貯蓄することも大事だよ。

困ったときは助けてもらえるといいなあ。そのためには助けることも必要なのかな。



プラス
+ONE

賢くお金を使うための意思決定方法

限られた予算のなかでどうしても欲しいモノがある場合、いくつかの選択肢が考えられます。例えば、「すぐを買う」「(スペックを落とすなどで)もう少し安いモノを買う」「お金が貯まるまで待つ」「やめる」などです。それぞれのメリットとデメリットを紙に書き出してみましょう。そうすれば、どの選択肢が最も合理的か見えてくるはずです。



Ⅲ 世界とつながる私のお金

1 進化するお金とキャッシュレス社会

普段私たちは、金属で作られた**貨幣(コイン)**や紙に印刷された**紙幣(お札)**を使っています。



お金はさらに進化しており、それらの現金を使わない**キャッシュレス決済**の手段(**クレジットカード**、**電子マネー**、**デビットカード**、**モバイル決済**など)が世界的に広がっています。海外では、キャッシュレス決済のみで現金が使えないお店もあります。今後は日本でも、キャッシュレス決済が中心の社会になっていくでしょう(**Lesson4参照**)。

暗号資産という電子データのみで実物(貨幣・紙幣)のない形も登場しています。お金の進化はまだまだ続いていくのかもしれませんが。

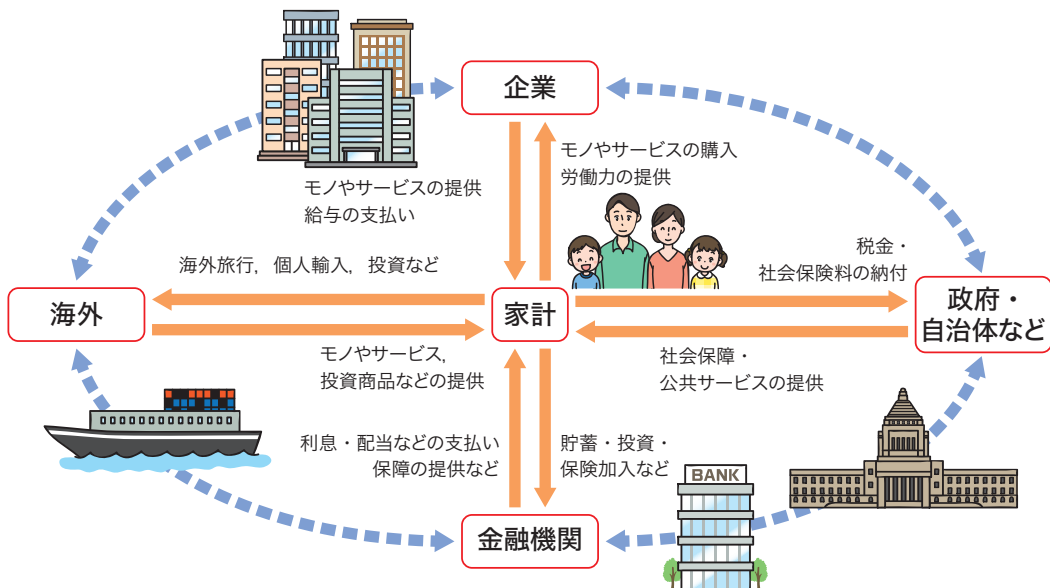
キャッシュレス決済はスピーディーな決済ができる半面、不正利用を防ぐセキュリティ対策も必要です。



2 私のお金は世界とつながっている

私たちの支出は、以下の図のように、企業・海外・政府や自治体・金融機関などに流れ、私たちの暮らしにさまざまな形で還元されるという循環が行われています。私たちのお金は家計で完結しているのではなく、血液のように世界中を巡り、活用され、私たちが暮らす社会の生命を維持しているのです。

家計を中心にみたモノ・サービスの動きとお金の循環



3 私のお金が世界を良くする

近年、**SDGs (エスディーゼーズ)**という言葉をよく耳にするようになりました。これは「持続可能な開発目標」のことで、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標として、政府や企業などが取り組んでいます。私たち個人も、暮らしのなかでできることはたくさんあります。商品・サービスを選択する場面や買ったものを使用または廃棄する場面において、環境・人・社会に配慮した消費を心がけることを**エシカル消費**と呼びます。

エシカル消費の行動例



地域の生産者が作ったものなどを積極的に購入する「応援消費」を行う



フェアトレードの商品や環境負荷の少ない商品など、人や環境に配慮した商品を選択する



プラスチックごみの削減、食品ロスの削減など

また、家計の余剰資金を貯蓄として銀行に預けるだけでなく、投資によって世界をより良くすることもできます。例えば、**ESG投資**を行う**投資信託 (Lesson3参照)**を選んでみるなどの方法があります。

ESG投資とは、環境(Environment：地球温暖化対策など)、社会(Social：ダイバーシティ推進など)、企業統治(Governance：法令遵守など)に配慮している企業の成長性を期待しての投資で、世界を良くする企業を投資によって応援するともいえます。企業としても、ESGに配慮した企業活動を行わないと投資してもらえませんから、SDGsに取り組むことで企業価値を高めようとする事が期待できます。

このようなお金の流れが、世界をより良くしていくことにつながります。

プラス
+ONE

●● 寄付とクラウドファンディング

NPO法人(特定非営利活動法人)など応援したい団体があるなら、直接そこに「寄付」することもできます。寄付により、税金が優遇される場合もあります。

また、インターネットを通じて特定の活動のために資金集めをするクラウドファンディングに参加することも、私たちのお金を社会のために活かすことにつながります。

